

事後評価シート

コード 6-2-1	事務事業名 高齢者いきいきミニデイ事業	所管部課 保健福祉部高齢者支援課
--------------	------------------------	---------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 ひとりぐらし高齢者等と社会との接触を図ることを目的とし、ミニデイ協力員の活動によって、一般家庭等で高齢者等に家庭的雰囲気を味わってもらいながら、地域との交流及び趣味活動から生きがいを見い出してもらい、もって在宅福祉の充実を図る。 実施内容、実施方法 ミニデイ協力者が呼びかけをして趣味、レクリエーション、学習等の生きがいの場を提供する事業を月1回以上実施する。	事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業
	事業開始時期 合併前から 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (報償)	根拠法令等 西東京市高齢者いきいきミニデイ取扱い要綱

評価指標の設定	活動指標名 ミニデイ協力者活動場所数	活動指標の考え方(定義) ミニデイ協力者活動場所数
	開催延べ回数	開催回数
	成果指標名 1次 ミニデイ参加者延べ人数	成果指標の考え方(定義) 1次 ミニデイ参加者延べ人数
	1次 協力員の数	1次 ミニデイ協力者の数
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	2,190	2,715	3,322	6,730
	国庫支出金					
	都支出金		1,350	1,620	1,800	2,343
	地方債					
	その他					
	一般財源	840	1,095	1,522	4,387	
	所要人員(B)	人	0.2	0.2	0.2	0.2
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,655	1,666	1,637	1,637
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	3,845	4,381	4,959	8,367
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (ミニデイ参加者延べ人数)	千円	1	1	1	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	箇所			22	26
	実績値	箇所	13	20	23	
活動指標	目標値	回			480	624
	実績値	回	376	500	599	
1次成果指標	目標値	人				
	実績値	人	3,851	5,478	7,190	
1次成果指標	目標値	人			22	26
	実績値	人	13	20	23	
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	ミニデイ協力者より、参加を呼びかけても集団活動をいやがる人がいて、どうしたら参加してもらえるか悩んでいる。活動場所の広さと人数の関係で参加者を増やせない。個人がやっている活動なので人数が増えたとコミュニケーションが取れなくなってしまう等々。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	ミニデイ活動に対して助成をしている市は少ない。
	運営上の制約条件・外部要因等	

コード 6-2-1	事務事業名 高齢者いきいきミニデイ事業	所管部課 保健福祉部高齢者支援課
--------------	------------------------	---------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	▼	4 高齢者の閉じこもりを防ぐため地域活動の育成や支援は必要である。
	目標の妥当性 4 市民等のニーズに基づき目標を定量的に設定している	▼	
	緊急性 4 今後しばらくの間、少しずつでも継続して実施する必要がある	▼	
2 市が関与する必要性	法的義務性 2 法律・条例での規定はないが、通達や要綱・要領で実施が規定されている	▼	2 ミニデイ協力者は奉仕的活動ができる者や団体が対象である。参加者からの利用料は徴収していない。
	必要性 4 安全・安心・健康な市民生活の水準の維持に不可欠なサービスである	▼	
	民間との役割分担 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみである	▼	
3 内容の適切さ	ニーズ 2 市民(市内)ニーズが推測でき、推測に見合ったサービスであることを説明できる	▼	2 ミニデイ協力者懇談会を開催し意見交換やアンケートを実施している。
	規模・方法の妥当性 5 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズに基づき毎年見直している	▼	
	公平性 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民または団体が対象である	▼	
4 実施手段の適切さ	有効性 4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる	▼	4 ミニデイ協力者は奉仕的活動ができる者や団体が対象である。参加者からの利用料は徴収していない。
	効率性 1 具体的な計画や目標等に基づいたコスト低減には特に取り組んでいない	▼	
	独自性 5 国・都及び市内には同種の目的を有する他の事務事業はない	▼	
合計			42

総合評価	評価結果	判断理由、説明等
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	活動場所に地域的かたよりがみられるため、市内全域に活動場所をひろげ、高齢者が気軽に参加できるようにすることが重要である。

18年度における改善点	地域的かたよりがないようにミニデイ協力者の増員と活動場所の確保をする。
-------------	-------------------------------------

二次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	地域コミュニティの活性にもつながる在宅福祉事業(デイサービス事業)として有効な取り組みと思われる。 協力員のボランティアによるところが多く、地域の自助・共助を基に市が援助するしくみとして評価できる。 なお、今後に向けて参加登録者実数を成果指標に挙げ、実利用者数の把握を行わりたい。
------	---	--

行革本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	地域交流、在宅福祉の点からも有効な事業である。今後とも本事業内容の充実を図るよう、活動地域の拡大、参加者の増加に向け努力されたい。
--------	---	---